

MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク』2025.12.6

第 1179 回放送分『肺高血圧症』1回目

ゲスト：窪田 佳代子ドクター



二見いすゞ

今月のドクタートークは「肺高血圧症」をテーマにお送りいたします。

お話は、鹿児島県医師会 窪田 佳代子（くぼた かよこ）ドクターです。

窪田さん、よろしくお願ひいたします。

窪田佳代子Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすゞ

まず肺高血圧症という病名についてですが、

あまり聞いたことがないという方も多いと思いますので、

どのような病気なのかについて教えていただけますか。

窪田佳代子Dr.

はい。心臓が4つの部屋に分かれているのは、ご存知の方も多いと思います。

今日は、ラジオなので分かりやすくお伝えするために、心臓を4つではなく、

右と左の大きく2つに分けてご説明いたします。

二見いすゞ

はい、お願ひします。

窪田佳代子Dr.

まず肺高血圧症がどんな病気なのかをお伝えする前に、

私たちの心臓がどんな役割をしているかおさらいしましょう。

二見いすゞ

心臓と血液の流れ、確かに中学校で習った記憶があります。

窪田佳代子Dr.

そうですよね。みなさん、なんとなくはご理解されていると思います。まず、心臓の左側から送り出された血液は、全身へと行き渡ります。細胞に酸素や栄養を与え、同時に二酸化炭素や老廃物を受け取って、今度は心臓の右側に戻ってきます。

二見いすゞ

心臓の左側から血液が全身に行き渡って、今度は心臓の右側に戻ってくるんですね。

窪田佳代子Dr.

はい、そうです。心臓の右側に戻ってきた血液は、今度はどこに行くかと言いますと、肺動脈というところを通って、肺へ送られます。

二見いすゞ

肺動脈という血管を通って、肺に行くんですね。

窪田佳代子Dr.

そうです。その肺で二酸化炭素を取り除き、十分な酸素を含んだ血液は、心臓の左側へと戻ってきます。

二見いすゞ

なんか、きれいになって一周してきたイメージですね。

窪田佳代子Dr.

そうですね。心臓の左側に戻ってきた血液は、再び全身に送られるという流れになっています。

二見いすゞ

少しづつ、昔授業で習ったことを思い出してくださいました。

窪田佳代子Dr.

それで最初の質問にあった、「肺高血圧症はどんな病気なのか？」の質問にお答えしますと、心臓の右側から肺へ血液を送る肺動脈の拡張血管が狭くなり、血液が通りにくくなるなどの理由で肺動脈の血圧が高くなる病気なんです。

二見いすゞ

そういうことなんですね。

そうなってしまう原因はどのようなものがあるのですか？

窪田佳代子Dr.

原因は5つあるのですが、これについては来週しっかりとお伝えいたします。

二見いすゞ

よく分かりました。

今月は、「肺高血圧症」をテーマにお送りいたします。

お話は、鹿児島県医師会 窪田 佳代子ドクターでした。

窪田さん、ありがとうございました。

窪田佳代子Dr.

ありがとうございました。